



2023年10月吉日

お客様各位

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

新 NISA 制度における成長投資枠対象ファンド届出のお知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長 阿部修平）は、2024年1月より開始される新しい NISA 制度における成長投資枠に適合する商品として、一般社団法人投資信託協会へ下記ファンドの届出を行い、同協会より10月2日に新たな追加対象ファンドが公表されましたことをご知らせいたします。

なお、下記リストは10月2日現在の対象ファンドを記載したものです。今後も弊社にて制度要件の確認が完了したファンドから順次届出を予定しております。

また、現時点では下記の対象ファンドやそのマザーファンドの約款において信託期間等で成長投資枠の要件を満たしていない商品も一部ございますが、新しい NISA 制度開始までには対応を完了させる予定です。

弊社は、今後とも一層の商品開発力と運用力の向上を図り、お客さまにご満足いただけるサービスを提供し続けるよう努力するとともに、より多くの皆様に「日本株、そしてアジア株といえばスパークス」と認知していただけるよう努めてまいります。

<対象ファンド（2023年10月2日現在）>

- ・ スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド（愛称：ライジング・サン）
- ・ スパークス・新・国際優良日本株ファンド（愛称：厳選投資）
- ・ スパークス・日本株式スチュワードシップ・ファンド（愛称：対話の力）
- ・ スパークス・アクティブ・ジャパン（愛称：キョウソウのバトン）
- ・ スパークス・ジャパン・オープン（愛称：キョウソウの架け橋）
- ・ スパークス・M&S・ジャパン・ファンド（愛称：華咲く中小型）
- ・ スパークス・ベスト・ピック・ファンド（ヘッジ型）
- ・ スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド（愛称：価値発掘）
- ・ スパークス・新・国際優良アジア株ファンド（愛称：アジア厳選投資）
- ・ スパークス・新・国際優良日本アジア株ファンド（愛称：日本アジア厳選投資）
- ・ スパークス・企業価値創造日本株ファンド

各ファンドの詳細につきましては、弊社ホームページ（<https://www.sparx.co.jp/>）、または、一般社団法人投資信託協会ホームページ（<https://www.toushin.or.jp/index.html>）をご覧ください。



投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第 37 条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々の投資信託に適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なるため、費用の料率はスパークス・アセット・マネジメント株式会社が運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定の投資信託の取得をご希望の場合には、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断で行っていただくようお願いいたします。

投資リスク

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある証券等（外貨建て資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

特化型のファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

ロング・ショート戦略のファンドは売建て（ショート・ポジション）取引を行いますので、売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生するために、通常の株式投資信託における損失よりも大きくなる可能性があります。

上記は投資信託に係るリスクの一部を記載したものであり、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。



投資信託に係る費用について

当社における公募投資信託に係る費用（料率）の上限は以下のとおりです。

●直接ご負担いただく費用

購入時手数料	上限 3.85%（税込）
換金手数料	なし
信託財産留保額	上限 0.5%

●投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	上限 2.057%（税込）
実績報酬（※）	投資信託により、実績報酬がかかる場合があります。

※実績報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他の費用・手数料（※） 監査費用、目論見書や運用報告書等の作成費用など諸費用等ならびに組入有価証券（ファンドを含む）の売買の際に発生する売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建て資産の保管費用等を信託財産でご負担いただきます。組入有価証券がファンドの場合には、上記の他に受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかる場合があります。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 投資信託により異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。

<委託会社>

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 346 号

加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 本件に関するお問合せ先

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ビジネス・デベロップメント本部 リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話番号：03-6711-9170

受付時間：9:00～17:00（12/31～1/3・土日祝日・振替休日を除く）